

- ☐ 胸やけが続く
- ☐ すっぱい液が口の中にこみあげる
- ☐ のどが詰まった感じがする
- ☐ 胸の痛み
- ☐ げっぷ
- ☐ 胃もたれ

こんな症状が
あったら要注意

!?
これぞ早期発見

病気探しのコツ

●監修●
東北大学病院名誉教授
本郷 道夫

逆流性食道炎

「逆流性食道炎」って
どんな病気?

逆流性食道炎は、胃酸が食道に逆流して、食道の粘膜に炎症を起こす病気です。

胃と食道のつなぎ目にあたる噴門は、普段は閉まっており、食道が食物を胃に送りこむときだけ開きます。しかし、この噴門の力が弱くなると、吞み込みをしないときにも噴門が開きやすくなり、胃酸が胃から食道に逆流します。胃酸は強い酸性であるため、食道の粘膜が炎症を起こします。



どうすればよい?

症状が強いとき、長期間続くときは、内科や胃腸科、消化器科を受診しましょう。逆流性食道炎を放置すると胸やけなどの症状は悪化し、食道潰瘍やがんになるリスクもあります。また、逆流性食道炎の症状は、胃潰瘍や胃がんなどにもみられますので、注意が必要です。

は開きやすくなり、加齢により噴門の力は弱くなります。近年、逆流性食道炎の人は増えており、男性では肥満が増える40代、60代、女性では腰が曲がって背中が丸くなる体型になる50代、70代が注意したい年代です。

日常生活で注意すること

食事は規則正しく
ゆっくりと食べる

腹 8 分目を
こころがける

脂肪分の多いもの
をひかえる



アルコールを
ひかえる

食べてすぐに
横にならない

ベルトや下着で
お腹を強く
締めつけない

問診と内視鏡検査などにより逆流性食道炎と診断された場合は、生活改善の指導とともに、胃酸の分泌を抑える薬や食道粘膜を保護する薬などが処方されます。内視鏡で食道炎の所見がみつからなくても、逆流の症状でつらい思いをする人

にも同じ治療を行います。非びらん性胃食道逆流症と呼ぶ病気です。
悪化や再発を防ぐため、薬は、症状が軽減しても勝手にやめず、医師の指示どおり飲み続けましょう。